

燃料電池車普及に向けた中性子への期待

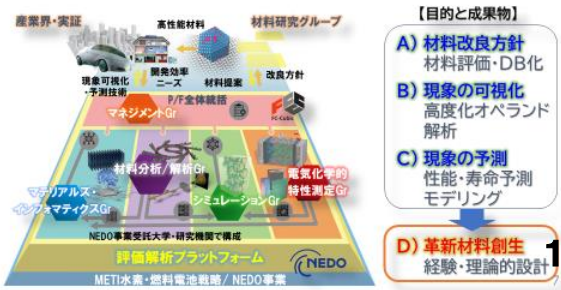
技術研究組合 FC-Cubic

雨宮 一樹

固体高分子形燃料電池（PEFC）の性能と耐久を改善するために、NEDO プロジェクトにおいて評価解析プラットフォームが立ち上がった。データ駆動およびモデル駆動のアプローチにより、燃料電池車等移動体普及に向けた革新材料創生を狙う。併せて実行する、現象の予測（シミュレーション）には、高度な現象解析が必要であり、特に中性子を利用した解析に期待する。

評価解析プラットフォーム

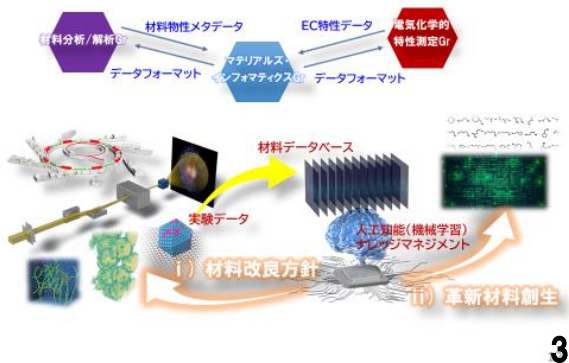
- “群”でダイナミックに成果を出す欧米に対し、日本は基本的に個別研究
- 他国への競争力を出すために、日本の知を集積する仕組みが必要
- 産業界のニーズを取り込み、NEDO評価解析プラットフォームを立ち上げ



アウトプット



WP1: データ駆動材料設計



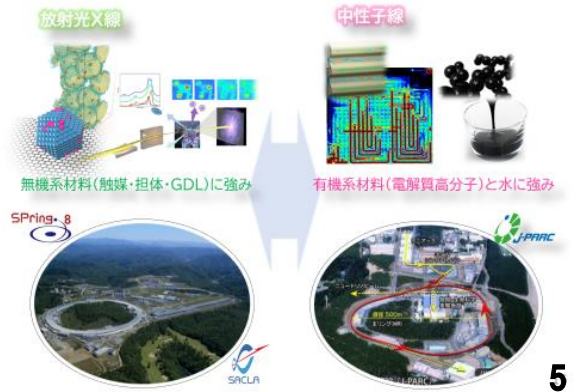
3

WP2: モデル駆動材料設計



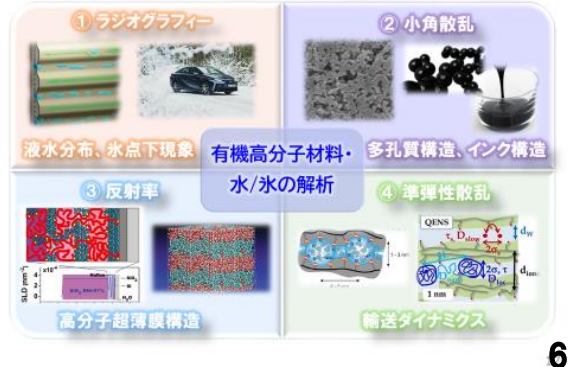
4

世界トップの高度解析ファシリティとの連携



5

中性子解析への期待



6